

令和5年第17回選挙管理委員会定例会会議録			
開催日時	令和5年5月10日(水) 午後1時00分から 午後1時40分まで		
出席者	委員	本橋委員長、梅田委員長職務代理、小井委員、松島委員	
	事務局	石田局長、増田次長、中野選挙法規担当係長、清水主査	
開催場所	選挙管理委員会室	傍聴人	なし
会議の結果 及び 主な発言	議案等		結果
	議案30号	在外選挙人名簿の登録について	決定
	報告17-1	杉並区議会議員選挙の投票率について	了承
	報告17-2	事務局職員の異動について	了承
	報告17-3	6月の日程について	了承
委員長	これから令和5年第17回の定例会を開会いたします。		
	<在外選挙人名簿の登録について>		
委員長	議案第30号について、事務局から説明をお願いします。		
局長	<p>議案第30号をご覧ください。こちらは在外選挙人名簿の登録についてです。在外選挙人名簿について、在外公館及び移転登録者の在外選挙人証の交付等を行います。根拠法令は記載のとおりです。</p> <p>登録日は本日5月10日で、登録者については在外選挙人登録別一覧に記載のとおりです。</p> <p>新規登録者数は21名で、内訳は男性8名、女性13名です。登録決定後、速やかに領事館を通じて在外選挙人証を交付します。</p> <p>また、登録を行わなかった者については0名であり、登録抹消者については31名です。31名の内訳は、男性13名、女性18名です。</p> <p>前回までの登録者数は1,380名で、今回の登録者数は1,370名ですので、10名減となります。</p> <p>以上、議案第30号の説明となります。</p>		
委員長	ありがとうございました。委員のみなさま、ご意見やご質問はありませんか。		
一同	(特になし。)		
委員長	それでは、議案第30号は決定でよろしいでしょうか。		
一同	異議なし。		
	<杉並区議会議員選挙の投票率について>		
委員長	それでは、報告事項17-1をお願いします。		

局 長	<p>報告 17-1 をご覧ください。</p> <p>杉並区議会議員選挙の投票率について、投票所順、投票率順、年代別とそれぞれ資料を添付しております。</p> <p>まず、最初に投票所順の資料をご覧ください。第 1 投票所の方南小学校から第 67 投票所のグランドメゾン杉並シーズンまで投票所の番号順で記載しております。</p> <p>次に、投票率順の資料をご覧ください。投票率の高い順番に並び変えたものになります。一番投票率が高い投票所は、第 67 投票所のグランドメゾン杉並シーズンで、一番投票率が低い投票所は第 64 投票所の上高井戸区民集会所となります。基本的には前回の選挙から順位に大きな変動はありません。</p> <p>次は、年代別投票状況一覧をご覧ください。18 歳、19 歳と 20 歳からは 5 歳区分で計上したものになります。18 歳は投票率が 46.45%と全体の投票率 43.66%よりも高くなっており、一方、19 歳になると全体の投票率よりも低くなり、20 歳～24 歳になると、さらに投票率が下がります。</p> <p>25 歳～29 歳以降は、年代を上がるごとに投票率は高くなりますが、80 歳以上になると投票率は低くなります。このような傾向は、どの選挙も同様です。</p> <p>1 枚めくっていただきますと、年代別投票率をグラフにしたものです。棒グラフが投票率を表しており、折れ線グラフが当日有権者数を表しています。先ほど説明した傾向が、視覚的に見て取れるかと思えます。</p> <p>以上、報告事項 17-1 の説明となります。</p>
委員 長	<p>ありがとうございました。委員のみなさま、ご意見やご質問はありませんか。</p>
小井委員	<p>国政選挙の場合は、今回の選挙と傾向が異なるのでしょうか。今回の選挙では、グラフにあるように、投票率でみると 70 代が最も高くなっています。投票者数でみた場合には 40 代・50 代が最も多くなっていますが、国政選挙の場合でも投票者数でみると 40 代・50 代が多くなるということなのでしょうか。</p>
局 長	<p>全体的に国政選挙は投票率が高くなりますから、絶対的には投票者数が多くなります。令和 3 年の衆議院議員選挙では、投票率はやはり 70 代が最も高くなっています。また、投票者数でみた場合には 40 代・50 代が最も多くなっており、同様の傾向となっております。</p> <p>なお、今回の区議会議員選挙の投票率は、前回の区議会議員選挙と比べて約 4 ポイント高くなっております。期日前投票が浸透してきており、期日前投票者数が前回の区議会議員選挙では約 5 万人であったのに対し、今回の区議会議員選挙では約 6 万人と増加しております。</p>
委員 長	<p>20 代の投票率が低くて 30 代から投票率が上がっていくというのは、区選挙でも国の選挙でも同じような傾向だと思います。ただし、国の選挙の方が 10% 以上投票率は高いですね。</p>
小井委員	<p>区選挙でも国の選挙でも、年代別投票率は同じような形になるのですね。</p>
委員 長	<p>有権者数が多いのは 50 歳前後です。若年層への啓発ももちろん大切ですが、有権者数が多い 50 歳前後の方への啓発活動を行うことも、決してポイントとしては間違っていないと思います。</p> <p>有権者数でみると、やはり若年層は分母が少ないですね。</p>
梅田委員長 職務代理	<p>20 歳から 30 歳くらいまでの若い方がこれからの杉並区を引っ張ってってくれるわけですから、若年層の投票率が上がる啓発方法を何か考えられるといいと思いますね。</p>

委員長	やはり区議会議員選挙は立候補者数が多いので、投票先を迷うのではないのでしょうか。その点は20代の人でも50代の人と同様だと思います。
松島委員	60歳以降において投票率が高いのは、地域活動をしている世代という点が挙げられるのではないのでしょうか。地域に関わって立候補者に接していないと、立候補者が地域内でどのような活動をしているのか、よくわからないということが現実だと思います。そこが投票率の差につながっているのではないのでしょうか。
局長	20代と30代の男女の投票率を比べると、男性の方が低くなっております。
委員長	25歳から34歳まででは、5%も差があるんですね。
小井委員	有権者数は団塊の世代である70代が多いのかと思っておりましたが、40代から50代前半までが多いんですね。 今回の選挙は、4年前の区議会議員選挙より4ポイント以上投票率が上がり、全体の投票者数が約2万人増えました。今後も今回のように投票率を上げていくためには、SNSを利用した啓発活動を行うことが必要となるのでしょうか。
委員長	今SNSという話が出ましたが、今回区としては初めてポスター掲示板に区公式ホームページにアクセスするQRコードを掲載する取組を行いました。
小井委員	今後も地道な啓発活動を行っていきましょう。
委員長	これからも投票率を上げるための啓発活動について話し合う場は設けていきたいと思えます。それでは、報告17-1についてはよろしいですか。
一同	報告了承。
	<事務局職員の異動について>
委員長	次は、報告事項17-2をお願いします。
局長	報告17-2は、事務局職員の異動についてです。 (報告17-2に沿って、事務局職員の異動について説明。)
委員長	報告17-2についてはよろしいですか。
一同	報告了承。
	<6月の日程について>
委員長	続いて、報告事項17-3をお願いします。
局長	報告17-3は6月の委員会の日程です。 (報告17-3に沿って、委員会の日程を説明。)
委員長	報告17-3について、よろしいですか。
一同	報告了承。
	<その他>
委員長	本日の予定されている議案・報告は終了しましたが、その他にございますか。 まず、私から1点報告をさせていただきます。 今週の8日月曜に区議会の初会合があり、本会議に出席する理事者との顔合わせを行いました。

	<p>通例だと今後、臨時会が招集されて正副議長等を決めることとなります。 私からの報告は以上となります。 事務局からは、何かありますか。</p>
局 長	<p>今回の区議会議員選挙について、選挙の効力及び当選の効力に関する異議の申出期間は、選挙の効力に関する異議の申出は、選挙の日から14日以内ですので、5月8日まででした。また、当選の効力に関する異議の申出は、当選人決定の告示の日から14日以内ですので、5月9日まででした。この期間中にどちらの異議の申出も提起されませんでしたので、今回の杉並区議会議員選挙についての選挙の効力及び当選の効力は確定となります。</p>
委員 長	<p>その他に何かありますか。</p>
局 長	<p>特にありません。</p>
委員 長	<p>では、最後に今後の予定等について確認をお願いします。</p>
局 長	<p>次回の第18回の定例会は、5月18日の木曜日に行います。内容は、特選連通常総会の開催について等の報告が予定されております。 (議題書に沿って、5月18日以降の日程を確認。)</p>
委員 長	<p>その他、ご意見、ご質問などありませんか。無いようでしたら本日の委員会を終了します。</p>